

ステップフォーム〈GRC製階段用永久型枠〉

GRC

階段を現場打ちコンクリートで製作する時は、非常に多くの労力と時間を要します。
ステップフォームは、GRC（ガラス繊維補強セメント）の持つ強度を活かし、型枠材としてはもちろん、そのまま表面仕上げ材とすることで大幅な工期短縮が図れます。

●特長

1. 大幅な工期短縮

ステップフォームは、コンクリート打設時の型枠として用いると同時に、打設後も階段の蹴り込み板及び踏み板として利用できるため、型枠の撤去、モルタル仕上げ工事が不要です。

2. コンクリート打設時の確認が容易

路面が解放されているため、コンクリートの打設状況が直接確認できます。

3. 優れた強度、耐久性

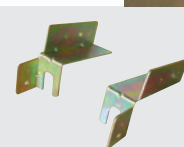
GRC（ガラス繊維補強セメント）製型枠なので、強度、耐衝撃性が高く、強靱で耐久性に優れています。

4. デザイン性

表面に溝のある滑り止め部があり、美しい外観を備えています。



金物取付時



●ステップフォーム
1段当たり必要部品
(注:お客様準備品)

従来工法との比較

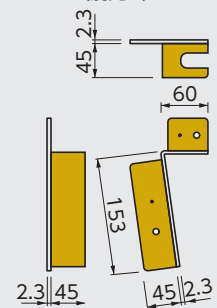
従来工法

- 階段下部のスラブ型枠を組み立てる
- ↓
- スラブ型枠上に階段状に鉄筋を配筋する
- ↓
- コンクリート型枠板（せき板）を組み立てる
- ↓
- コンクリート打設後養生
- ↓
- コンクリート型枠板を解体する
- ↓
- 仕上げ用の墨出し作業
- ↓
- すべり止め（ノンスリップ）取付作業
- ↓
- 階段蹴り込み部左官仕上げ（モルタル仕上げ）
- ↓
- 踏み面のモルタル仕上げ
- ↓
- 施工終了

ステップフォームを使用した場合

- 階段下部のスラブ型枠を組み立てる
- ↓
- スラブ型枠上に階段状に鉄筋を配筋する
- ↓
- ステップフォームを取り付ける
- ↓
- コンクリートを打設すると同時に
踏み面を仕上げる
- ↓
- 取付金物の撤去
- ↓
- 施工終了

取付金物: 右用左用各1個
(別売り)

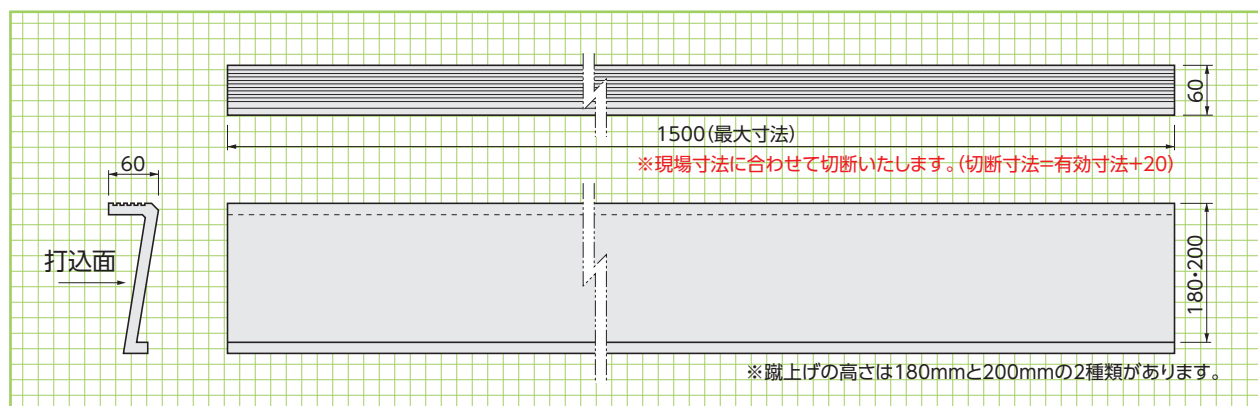


取付ボルト・ナット・ワッシャー
: 2組



基本形状図

形状・寸法



▶ ポストフレックス〈車線分離標〉

NETIS掲載終了
KT-030051-VE

●特長

1. 特殊な「凸型形状」

ものは曲線を付けると復元しやすくなります。この原理を利用し、ポストフレックスは「形状」によって、復元する力を出しています。

2. 耐久性の高い「ポリウレタン素材」

従来のウレタンゴムよりも高い強度をもつポリウレタンを使用し車両の衝突でもちぎれにくくなっています。

3. 新構造により大幅なコストダウンを実現

内部にゴム芯のない一層式の単純構造のため製造工程が少なく低コストでの製造が可能。

4. ランニングコストを削減

ポストフレックスはパーツごとの購入が可能です。ポスト部の交換が出来ますので、補修時の材料費・施工費が大幅に削減出来ます。ピンを外すだけで、簡単に交換が出来ます。



▶ 防潮ゲート

●特長

1. 河川及び海岸線への出入口の扉として、また、高潮等の防護扉として幅広く活用できます。

2. スキンプレートには耐腐食性の高いステンレス鋼を使用しています。

※掲載写真以外にも様々なタイプがありますので、詳細は営業担当にご相談ください

▼スイング式:W1500×H365



▼スイング式:W1500×H1400



▼スイング式:W3000×H640



▼横引式:W1300×H1500



▼横引式:W1500×H900



港湾残置型枠ブロック〈プレキャストコンクリート製残置型枠工法〉

宮崎県
新技術

意匠登録番号:第1567042号

漁港の岸壁・物揚場等で機能保全や性能向上のために水中コンクリートによる「腹付け工」が実施されています。「プレキャストコンクリート製残置型枠工法」は、この腹付け工の標準工法として開発されました。

従来の鋼製型枠を本製品に置き換えて施工することで、施工効率と作業安全度の向上が期待できます。

一般社団法人 全日本漁港建設協会(漁港プレキャスト工法研究会)

「プレキャストコンクリート製残置型枠工法」準拠製品

●特長

1.日当たり施工量の増加

施工作業の標準化により工期が30%程度短縮できます。

2.作業工程の合理化

陸上の整備スペースは不要。残置型枠は完成構造物の一部となり作業工程が合理化できます。

3.作業安全度の向上

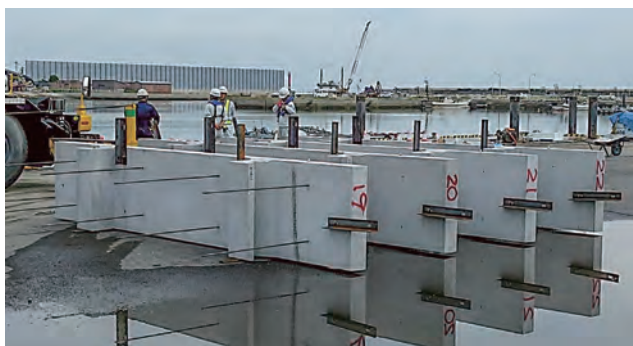
残置型枠据付は水中の開放空間作業となり作業安全度を向上できます。

4.経済性の向上

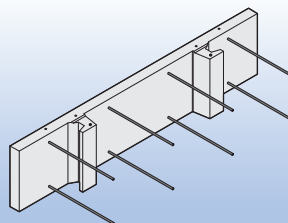
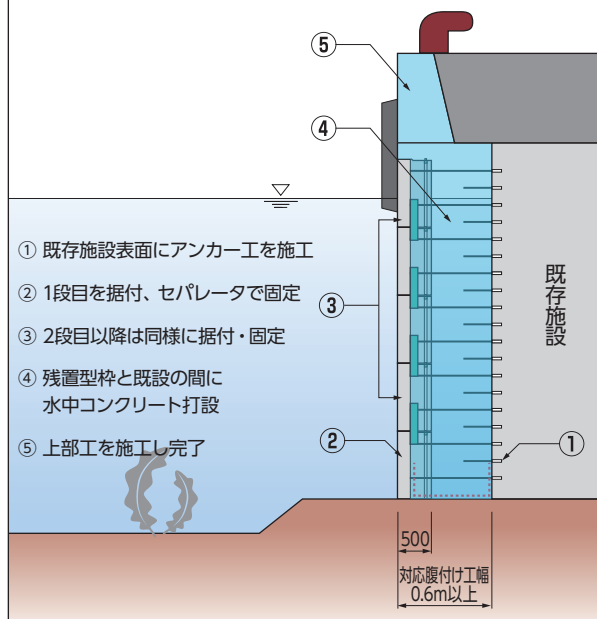
腹付け工幅1.0m未満の施工が可能。段毎の据付により建設機械の所要規格が低減できます。

5.利用の合理化

泊地の減少面積が最少化できます。係留等の供用制限期間を短縮できます。



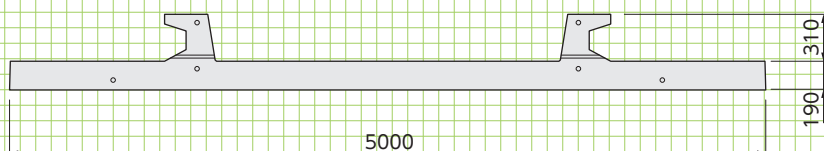
残置型枠工法の概要



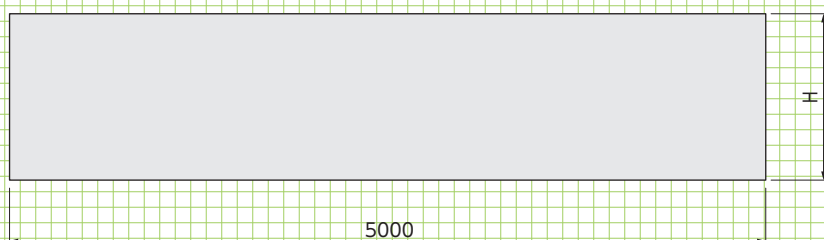
基本形状図

形状・寸法
重量表

■平面図



■正面図



■寸法・重量表

高さ H(mm)	参考重量 (kg)
800	1984
900	2235
1000	2484
1100	2734

■側面図

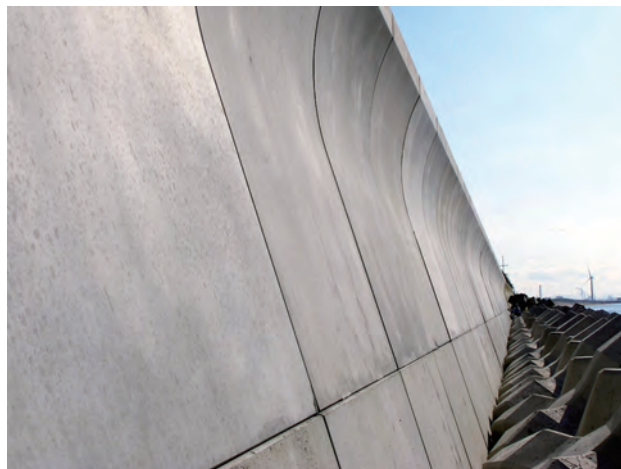


L=4000、L=3000もございます。

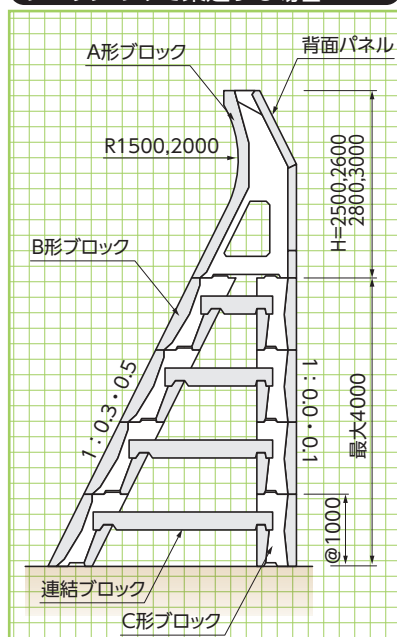
波返ブロック〈波返直立堤プレキャスト化ブロック〉

●特長

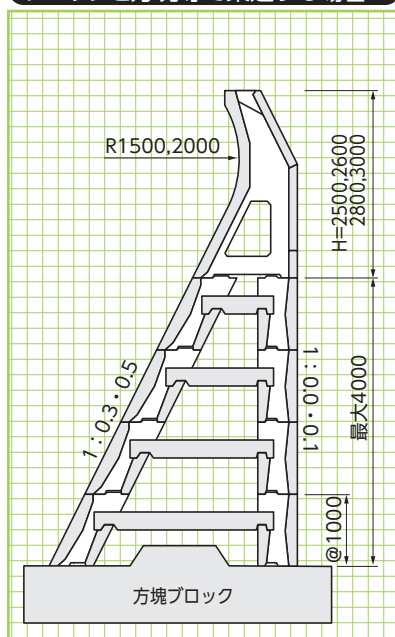
1. PC製「型枠配筋Block」を据付け、直立堤防・護岸を**簡単・迅速・安全**に築造します。
2. 擁壁部Blockは施工時に噛み合わせ連結される**3ピース構造**です。
3. 擁壁部Blockは**連結金物を一切使用せず**、中込コンクリートで一体化します。
4. 波返部曲率半径や法勾配の組合せは、**全8パターン**に対応します。
5. **排水対策や磨耗対策**にも対応します。



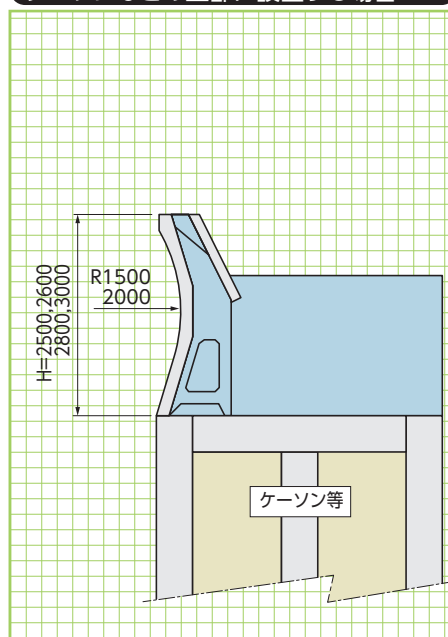
ブロックのみで築造する場合



ブロックと方塊等で築造する場合



ケーソンなどの上部に設置する場合



概要

■寸法・重量・規格表

※ 直高・延長などの調整は別途ご相談ください。

規 格		波返曲率半径 (mm)	法勾配	寸 法 (mm)	参考重量 (kg)
波 返 部	A形ブロック (波返部:4タイプ)	R1500	1:0.3	(直高) 2500 × (延長) 2000 × (控長) 1088	2948
			1:0.5	(直高) 2600 × (延長) 2000 × (控長) 1337	3213
		R2000	1:0.3	(直高) 2800 × (延長) 2000 × (控長) 1014	3204
			1:0.5	(直高) 3000 × (延長) 2000 × (控長) 1286	3641
	背面パネル	上段用(4タイプ共通)		(高さ) 1170 × (延長) 2000 × (厚さ) 120	632
		中段用(4タイプ共通)		(高さ) 1200 × (延長) 2000 × (厚さ) 120	639
		下段用(4タイプ下別)		(高さ) 280~780 × (延長) 2000 × (厚さ) 120	152~427
擁 壁 部	B形ブロック (擁壁部沖側)	—	1:0.3	(直高) 1000 × (延長) 2000 × (控長) 574	1306
			1:0.5	(直高) 1000 × (延長) 2000 × (控長) 615	1359
	C形ブロック (擁壁部岸側)	—	1:0.0	(直高) 1000 × (延長) 2000 × (控長) 550	1132
			1:0.1	(直高) 1000 × (延長) 2000 × (控長) 553	1136
	連結ブロック	—	—	(高さ) 250 × (幅) 200 × (長さ) 605~2845	59~315